



社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ふらっと」
〒951-8142
新潟市中央区関屋大川前 1 丁目 2 番 2 8 号
TEL 025(265)5958 FAX 025(265)5948
相談専用 TEL 025(265)5957
E-Mail : furatto@chive.ocn.ne.jp
URL: <http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/>

● ● ● 3 月 ふらっと予定 ● ● ●

●座 談 会・・・ 5 日(土) 今月は座談会を開催します。男女どなたでもぜひご参加ください。詳細は下記をご覧ください。

●昼 食 会・・・ 19 日(土) 当日 10:30 までお申込みください。

● ● ● 施設使用予定 ● ● ●

●面白ろクッキング・・・ 12 日(土) 11:00~13:00 地域交流室にて 定員 5 名 エプロン、三角巾の用意をお願いします。

※事前に、担当山岸までお申込みください。

鬼は～そと!
福は～うち!!

毎年恒例となっています
ふらっとの節分。
今年の豆まきは2回も鬼
を外まで追い出しました。



お豆はみんなで拾っておいしく頂きました♪
皆さんに沢山の福がありま
すように!



桃の節句

3月3日を前にふらっとにお雛様が登場しました☆
談話室が少し華やかな雰囲気になったように感じます。木目
込みのお雛様ということで「めずらしいね」なんて声も聞こ
えて来ます。とても優しいお顔をされています。
ぜひ見に来てください(^)



座談会のお知らせ

3月5日(土) 13:30 よりふらっとメンバー・スタッフによる座談会を開催します。

普段、ふらっとを利用して感じることも、もっと使いやすくするには? ふらっとの新規登録、更新についてなどなど、何でもお気軽にお話し出来る機会にしたいと考えています。ふらっとをご利用の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

当日参加が難しい方も、談話室には「ご意見箱」が常時設置してありますので、お気軽にご利用ください。

☆法人展開催中☆

前回の機関誌でも紹介をさせていただきましたが、もう見に行った方もいるでしょうか？
その様子を少し紹介したいと思います♪



ふらっと出展
Nさまの作品の一部



パッチワークもあります！
新商品☆
ティッシュBOX ケース⇒



手工芸から写真まで。
小さいものから大きなものまで。
本当にたくさんの素敵な作品が展示されています。
法人展は2月29日(月)まで開催しています！！

★主のコラム 北帰行★

最近、朝晩空に行く白鳥は、事さら大きな声を上げて飛んでいるように思える。いよ繁殖の為、シベリアへ北帰行が始まったようだ。さあ春がやってくる。
今年は暖冬もあって白鳥の餌も豊富で、我が地元瓢湖に飛来した白鳥の数は、過去最高の10159羽を数えたそうだ。通勤途中、車窓からは、田圃で餌をついばむ白鳥の姿を連日見ることが出来た。
読者の皆さんは、ご存じだろうか、昨春、ふらっとのスタッフが増え、事務所には机も増えた。存在感のない店主は必然的に事務所の奥に追いやられてしまった。
出বেনな店主というところもあって、隣りにはお目付け役まで貼り付けられる始末…しばらくは、大人しくしているのかと思いきや、目を離すとすべにやぼつて入力は温まる暇もない。本が一虎が軽いと振れば、酒のアテには肉が良いと言っているので、体重は重い…！お目付け役を悪者にするのか！



平成28年度 ふらっと・ゆとりあ利用手続き(更新手続き)について

ふらっと・ゆとりあをご利用いただくに当たり、利用者の皆さまには利用登録をお願いしています。利用登録は年度ごとの更新となりますので、現在登録されている皆さまにも更新の手続きが必要となります。更新についての詳しい内容は改めてふらっと・ゆとりあ内等にてお知らせ、またはスタッフよりお声かけをさせていただきます。

また、新規登録、見学希望につきましては随時受け付けておりますので、お気軽にふらっとまでお問い合わせ下さい。

ホームヘルパー講習会を終えて



前回の機関誌にもありましたが、去る1月31日(日)にふらっと・ゆとりあ主催で、精神障がいを持つ方に訪問をするホームヘルパーのための講習会を行いました。その中で、実際にヘルパーのサービスを利用している当事者である、佐々木福子さんのお話を聞くというコマを担当させていただきました。

利用する方がヘルパーに求めるものというのは人それぞれだと思います。「とにかく黙々と、てきぱき仕事をしてほしい」と言う人も居れば「多少仕事は遅くても、話の合う人が良い」と言う人も居ます。佐々木さんはどちらかという後者の方ではなかったかと思えます。もともとお喋りは好きということですが、事前の打合せでのお話からも、障がいを持ちながらのアパートでの一人暮らしという不安、寂しさがとても伝わってきました。定期的に訪問してくれるヘルパーは、気持ちの面でも大きな支えとなっている存在でした。

「ヘルパーさんたちがいなかったら今のわたしはないでしょう これからもこんな私を よろしくです」
佐々木さんの部屋の壁に貼ってある、歴代のヘルパーさん達の顔写真の横に書いてある一言でした。

にのみや